

愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会 開催基本計画

2024年3月



5th Asian Para Games
Aichi-Nagoya 2026

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

アジアパラリンピック委員会 マジッド・ラシッド会長

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会（AINAGOC）を代表して、アジアにおけるパラスポーツの発展に向けた不断の努力に心より敬意を表するとともに、アジアパラ競技大会を愛知・名古屋で開催することへの御支援に対し、厚く御礼を申し上げます。

大会準備の第一歩として、AINAGOC はアジアパラ競技大会の大会開催基本計画を策定いたしました。この計画は大会の方向性と幅広い分野の基本的枠組みを示したものであり、本計画に基づいて、個々の分野における具体的な実施内容の検討を進めてまいりますので、この大会開催基本計画に対する承認をお願い致します。

AINAGOC は、アジアパラ競技大会を成功に導くため、開催都市である愛知県、名古屋市及び日本パラリンピック委員会（JPC）と緊密に連携しながら、大会開催に向けて全力で取り組んでまいります。

今後ともより一層の御支援と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年3月

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

会 長

大村秀章

目次

第1章	概要	4
1.1	原則及びマーク	4
1.1.1	スローガン	4
1.1.2	エンブレム	4
1.1.3	マスコット	5
1.2	大会の詳細情報	6
1.3	運営体制	8
第2章	運営	9
2.1	競技	9
2.1.1	競技プログラム	9
2.1.2	競技関連業務	10
2.1.3	競技用備品	10
2.1.4	表彰式	11
2.1.5	医療サービス	11
2.1.6	アンチ・ドーピング	12
2.1.7	テストイベント	12
2.1.8	クラス分け	13
2.1.9	リペアサービス	13
2.1.10	スポーツプレゼンテーション	14
2.2	式典及び文化プログラム	17
2.2.1	開会式及び閉会式	17
2.2.2	入村式	18
2.2.3	聖火リレー	18
2.2.4	文化プログラム	18
2.3	競技大会施設	20
2.3.1	競技会場	20
2.4	宿泊	30
2.4.1	選手団宿泊施設	30
2.4.2	大会関係者（選手・チーム役員以外）宿泊施設	31
2.5	競技大会要員	33
2.5.1	組織・人材	33
2.5.2	人材の採用・確保	33
2.5.3	ボランティア	34
2.5.4	教育・研修	34
2.5.5	ユニフォーム	35
2.6	競技大会の物品	37
2.6.1	調達	37

2.6.2	レートカード.....	37
2.6.3	通関（税関）.....	37
2.7	輸送.....	39
2.7.1	輸送実施体制.....	39
2.7.2	到着/出発時の輸送.....	39
2.7.3	開会式及び閉会式時の輸送.....	39
2.7.4	競技時の輸送.....	40
2.7.5	輸送計画の策定.....	40
2.8	情報技術.....	42
2.8.1	アジアパラ競技大会情報システム（APGIS）.....	42
2.8.2	電気通信サービス.....	42
2.8.3	気象情報.....	43
2.8.4	計時計測及び掲示板.....	43
2.9	メディア.....	45
2.9.1	メインメディアセンター（MMC）.....	45
2.9.2	放送.....	45
2.9.3	報道（新聞・雑誌・テレビ・インターネットメディア等）.....	45
2.9.4	メディアサービス.....	46
2.10	国際関係.....	49
2.10.1	APCとの協力.....	49
2.10.2	NPCとの協力.....	49
2.10.3	会議.....	49
2.11	プロトコル.....	51
2.11.1	場所別プロトコル.....	51
2.11.2	プロトコル計画の策定.....	52
2.12	ア krediteーション.....	53
2.12.1	ア krediteーションのカテゴリー設定.....	53
2.12.2	入国手続とア krediteーション.....	54
2.12.3	ア krediteーションセンター.....	54
2.13	警備.....	55
2.13.1	実施体制.....	55
2.13.2	対策.....	55
2.14	大会プロモーション.....	57
2.14.1	インターネットの活用.....	57
2.14.2	PR イベント.....	57
2.14.3	報道対応.....	59
2.14.4	刊行物.....	59
2.14.5	インフォメーションセンター.....	60
2.15	マーケティング.....	61

2.15.1 スポンサー、ライセンス付与及び商品化計画	61
2.15.2 チケットिंग	61

本計画は、先催大会の状況を始め 2024 年 3 月時点で入手可能な情報に基づいて定めたものであり、様々な要因により変更する場合があります。

第1章 概要

1.1 原則及びマーク

1.1.1 スローガン

IMAGINE ONE HEART

こころを、ひとつに。

- 競技場に立つパラアスリートたち、ひとりひとりの熱い想いを、私たちは想像できること。また、想像してみようと促すことで、誰もがこころをひとつにする大会となるように言葉を開発設計しました。アジア競技大会愛知・名古屋「IMAGINE ONE ASIA こころを、ひとつに。」と対になり、その意味をさらに深める言葉としました。

1.1.2 エンブレム



- アジア競技大会エンブレムデザインの構成要素を使うことで、アジア競技大会との連携を図り、パラアスリートの方々の燃え盛る熱きこころを温かみのある色彩で表現しました。愛知・名古屋大会から今後のアジアパラ競技大会へ絶えることなく熱きこころが繋がっていく持続性も表しています。

1.1.3 マスコット

- 大会2年前までに平面（デザイン）・立体（着ぐるみ）を公表します。

1.2 大会の詳細情報

○ 大会名称

正式名称	愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会
略称	①第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）／ ②愛知・名古屋 2026 大会／③愛知・名古屋 2026

○ 組織委員会名称

正式名称	公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会
------	--------------------------------

○ 開催都市

- 愛知県、名古屋市

○ 大会期間

- 2026年10月18日（日）～10月24日（土）

○ 参加者数

- ・ 選手団（選手・チーム役員）3,600人から4,000人の間
（但し、選手は、2,400人から2,700人の間、チーム役員は、1,200人から1,300人の間、これらの選手とチーム役員のうち、移動に制限がある者又は日常的な車いす使用者の人数は、880人から950人の間で、最終的にAPC協議の上、大会18か月前までに決定します。）
- ・ APCファミリー 800人（想定）
- ・ 競技大会役員（TD¹、ITO²及びNTO³） 800人（想定）
- ・ メディア 2,500人（想定）
- ・ ボランティア 12,000人（想定）
- ・ その他、運営要員、スポンサーなどの人数が加算される。

○ 施設

- 競技会場、練習会場、選手村（以下「選手団宿泊施設」という。）、メインメディアセンター（MMC）など

¹ TD (Technical Delegate) 技術代表

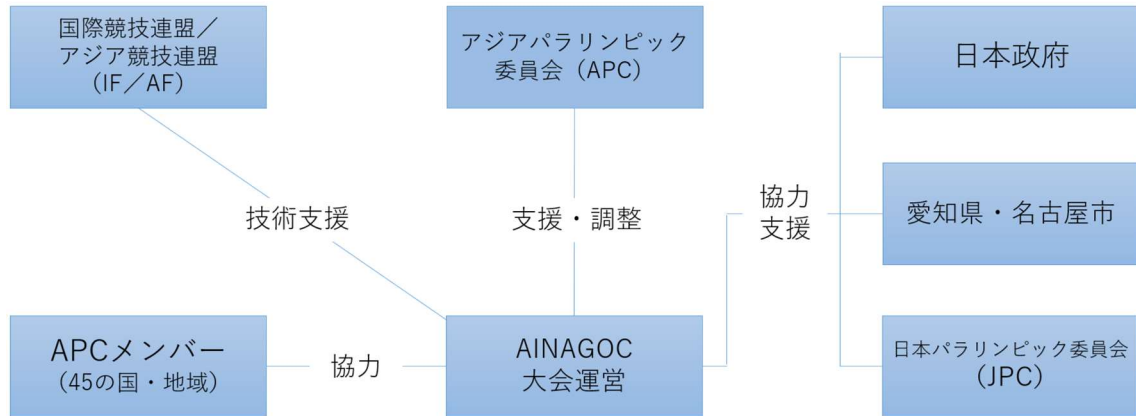
² ITO (International Technical Official) 国際技術役員

³ NTO (National Technical Official) 国内技術役員

- 実施競技
 - 2.1.1 競技プログラム参照
- その他のイベント
 - 開閉会式、聖火リレー、文化プログラムなど

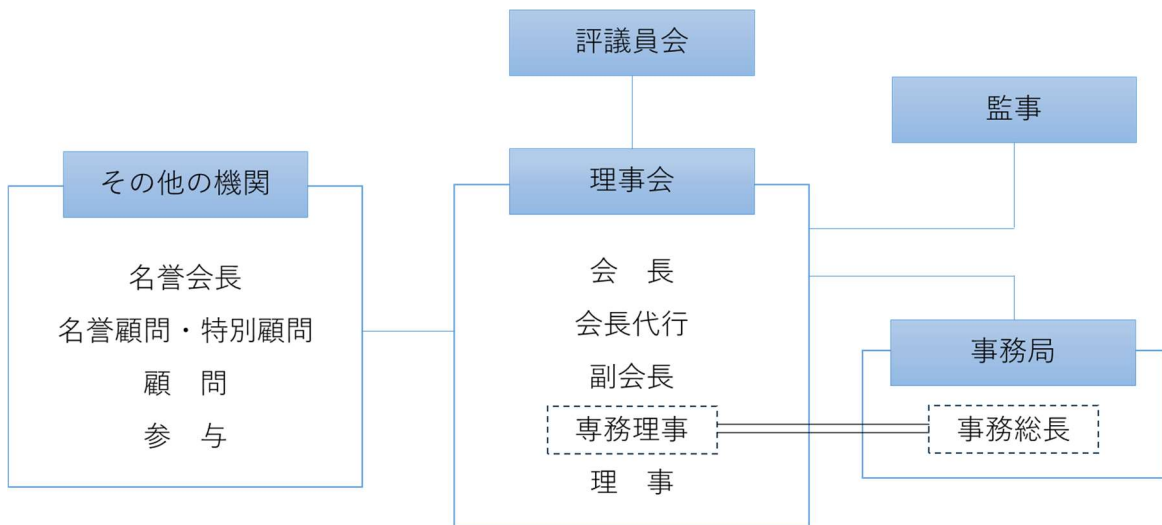
1.3 運営体制

○ 大会運営



○ 大会組織

- AINAGOC は各準備段階において必要な体制を整えます。
- ・ AINAGOC の状況（2024 年 3 月現在）



第2章 運営

2.1 競技

2.1.1 競技プログラム

○ 競技数：18

競技数	競技
18	アーチェリー、陸上競技、バドミントン、ボッチャ、自転車競技、ブラインドフットボール、ゴールボール、柔道、パワーリフティング、射撃、バレーボール（座位）、水泳、卓球、テコンドー、車いすバスケットボール、車いすフェンシング、車いすラグビー、車いすテニス

- 実施競技は、開催都市契約書のアジアパラ競技大会 2026 競技プログラムに明記されています。
 - 当事者が、本計画競技を実施するのに困難な状況（例えば、適切な競技会場の欠如、予算又は人員の不足、選手人口の不足など）が生じたことを理由として、本計画競技の変更を希望する場合は、当該当事者は、他方当事者らに対して、その理由を示して変更の申し出を行い、全当事者は、その変更について協議するものとされています。
 - 参加を予定する選手の人数は、2,400 人から 2,700 人の間、チーム役員の人数は、1,200 人から 1,300 人の間、これらの選手とチーム役員のうち、移動に制限がある者又は日常的な車いす使用者の人数は、880 人から 950 人の間で、最終的に APC 協議の上、大会 18 か月前までに決定します。
- 競技日程
 - 競技日程についてはデイリースケジュール、セッションスケジュール、イベントスケジュールを作成します。
- 競技プログラム（実施競技・メダルイベント、競技会場、デイリースケジュール、セッションスケジュール（ドラフト版））は、大会 18 か月前までに APC に提出します。

2.1.2 競技関連業務

○ 競技エントリー

- より効率的に大会運営を行うことができるようなエントリー方針を確立した上で大会 18 か月前までに競技エントリーマニュアルを作成し、APC に提出します。
 - ・ 参加意向調査（競技のエントリー）：2024 年 10 月～12 月
 - ・ 選手人数のエントリー：2025 年 7 月～9 月
 - ・ 選手氏名のエントリー：2026 年 4 月～6 月
 - ・ 参加意向調査においては、希望する競技に加え、選手人数の概数についても調査を行います。

○ テクニカルハンドブック

- 大会概要や競技情報などを網羅したテクニカルハンドブックを大会 1 年前までに作成し、各国のパラリンピック委員会（NPC）に配布します。
 - ・ 大会概要：AINAGOC、開催都市、アクレディテーション、宿泊、出入国、医療サービスなど
 - ・ 競技情報：競技日程、メダルイベント、会場、競技規則、競技エントリー、競技用備品、医療サービス、アンチ・ドーピング、表彰式、クラス分けなど

○ 競技関連発行物

- 必要に応じて選手・チーム役員等へ配布する競技関連発行物を検討します。

○ 公式出版物リスト

- 大会 24 か月前までに、過去のアジアパラ競技大会の出版物リストを参考に、愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会の出版物リストの案を作成し、APC に提出します。

2.1.3 競技用備品

○ 競技用備品リストの作成

- 競技の運営に必要な用具の種類や数量を IF/AF と協議し、競技用備品リストを作成します。

○ 競技用備品の調達

- スポンサー提供、無償レンタル、有償レンタル、購入によって効率的かつ正確に調達します。

2.1.4 表彰式

○ 表彰式の運営

- 入賞者を称えるのにふさわしい雰囲気を実施します。
- 運営要員や表彰式アシスタントなどについては事前に研修を実施し、円滑に表彰式が執り行われるようにします。
- その他、表彰台、衣装、音楽など必要な物品についても、表彰式の雰囲気に適合したものを用意します。
- 表彰式の実施内容に係る計画を、APCと協議の上作成します。

○ 入賞メダル・賞状

- 入賞メダル、表彰状（入賞6位まで）など必要な物品を作成します。
- 入賞メダルについては、開催都市である愛知・名古屋を想起させるデザインを検討し、APCの了解を得た上で、2024年に製作を開始します。

○ プレゼンター（贈呈者）

- APCの会長やAPCから承認を受けた人物により入賞メダルの授与を行うこととします。
- 詳細はAPCとの協議により決定します。

○ 選手団旗・国歌

- 表彰式には、各選手団の選手団旗及び国歌を使用します。
- 選手団旗・国歌の内容については、選手団団長会議などを通じ、誤りがないことを確認します。

○ その他物品等

- 入賞メダル・表彰状の他、開催都市である愛知・名古屋を想起させる記念品等の贈呈についても検討します。

2.1.5 医療サービス

○ 概要

- 大会における用務の遂行に必要な範囲において、大会期間中に医療サービスを提供します。

○ 実施体制

- 医療サービスの体系的な提供に向けた医事衛生実施計画やメディカルガイド等（アンチドーピ

ング含む) を有識者及び APC の意見を取り入れながら策定します。

- 会場近隣の医療機関及び衛生関係機関と連携を図りながら医療体制を整え、安心・安全な医療サービスを提供します。

○ 医療救護所の設置・運営

- 必要な競技会場及び非競技会場（選手団宿泊施設、メインメディアセンター及び本部ホテルなど）に医療救護所を設置し、応急処置を行います。また、必要に応じて近隣の医療機関に搬送できる体制を確保します。

○ 公衆衛生管理体制の確立

- 食中毒などの事故や集団感染の発生予防及び拡大防止のため、大会における保健衛生の基本的な対策を確立し、大会関係施設の衛生保持及び大会関係者の健康保持に努めます。

2.1.6 アンチ・ドーピング

○ 概要

- 競技会場及び選手団宿泊施設にドーピングコントロールステーション（DCS）を設置し、適切かつ円滑にドーピングコントロールを実施します。
 - ・ APC や公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）等と連携し、ドーピングコントロールの運営に必要な調整・準備を進めていきます。
 - ・ ドーピングコントロールスタッフについては、ドーピングコントロールオフィサー（DCO）、シャペロン、管理要員などの必要な人員を確保し、APCと連携します。

2.1.7 テストイベント

○ 概要

- 各種国際大会及び国内大会をテストイベントとして活用するなど、得られた課題や経験を活かして大会に必要な運営能力の確保を図っていきます。
 - ・ 陸上競技及び水泳を含む少なくとも二つの競技のテストイベントが組織される機会を確保し、国際競技連盟／アジア競技連盟／国内競技連盟（IF／AF／NF）と調整を行います。
 - ・ テストイベントの実施計画を策定します。
 - ・ テストイベントの開催（2025年9月～2026年6月）により、大会運営のノウハウを蓄

積みます。

2.1.8 クラス分け

○ 概要

- 各競技のクラス分けに必要な環境を提供し、適切にクラス分けが実施できるようにします。

○ クラス分け実施・運営

- 国際パラリンピック委員会（IPC）、APC、IFとクラス分けの実施について調整します。
- 身体障害と知的障害は競技会場又は練習会場での実施、視覚障害は適切な場所で実施します。

○ ガイドライン発行

- NPC 向けにガイドラインを発行します。

○ 備品調達

- IPC、APC、IFと調整の上、必要な備品を調達します。

○ 大会時のクラス分け運営

- クラス分け調整センターの必要な機能を整理・検討し、適切に運営します。

2.1.9 リペアサービス

○ 概要

- 大会出場に必要なサービス及び日常用車いす・義肢装具に係る必要最小限の範囲において、車いすや義肢装具の修理やメンテナンスを行うサービスを提供します。

○ 実施内容・方法検討

- サービスを提供する競技やサービス内容、その実施方法について検討し、IF/AF及びAPCと調整を行います。

○ 要件整理

- サービスを提供するに当たり、必要となる場所、人員、機材等の整理を行います。

○ 運営方法検討、運営

- 適切な運営方法を整理・検討の上、マニュアルを作成し、適切に運営します。

2.1.10 スポーツプレゼンテーション

○ 概要

- 円滑な競技進行を推進するとともに、会場内の一体感を醸成し、選手がベストパフォーマンスを発揮できるよう、アナウンスや音楽などによるスポーツプレゼンテーションを実施します。

○ 実施内容検討・要件整理

- APCとスポーツプレゼンテーションガイドラインの内容、コンサルタントの指名の必要性について協議した上で、各会場で実施する内容や方法を検討し必要な機材、人員等を整理します。

○ スポーツプレゼンテーション計画第1版作成

- 実施内容などをとりまとめ、大会12か月前までに、APCにスポーツプレゼンテーション計画第1版を提出します。

第2章 競技

❖ ロードマップ

2.1 競技	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.1.1 競技プログラム																	
競技	●決定																
メダルイベント									★APC提出								
デイリースケジュール									★APC提出								
セッションスケジュール									★APC提出(ドラフト版)								
イベントスケジュール																	
2.1.2 競技関連業務																	
エントリーマニュアル					検討、作成				★APC提出								
Expression of Interest(Entry by Sports)																	
Entry by Number																	
Entry by Name																	
テクニカルハンドブック・各種ガイド作成					ver.1作成				ver.2・各種ガイド作成								
出版物リスト案の作成・提出					リスト案の検討・作成				●NPCへ配布								
									★APC提出								
2.1.3 競技用備品																	
競技用備品リストの作成	過去大会等から検討、作成																
競技用備品の調達					競技ごとに調達方法検討、調達												
2.1.4 表彰式																	
表彰式実施計画					計画策定												
入賞メダルの制作					デザイン選定	製造	管理方法の検討	調整	管理	保管							
表彰台の制作					調査・仕様決定				製造								
表彰状、記念品等の製造、保管					検討				製造								
2.1.5 医療サービス																	
医事衛生実施計画・メディカルガイド等の策定 (アンチ・ドーピングの内容を含む)					基本計画作成				実施計画策定				メディカルガイド等検討・策定				
医療・衛生関係機関との調整					医療機関・保健所等との調整				後方支援病院の指定・調整								
医療救護所の設置・運営																	設置・運営
公衆衛生管理体制の確立					公衆衛生に係る各種対策の検討												

2.1 競技	2023年				2024年				2025年				2026年				27年	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4		
2.1.6 アンチ・ドーピング																		
情報収集、APCやJADA等との連絡調整		検査・分析等	各機関調整					各機関との契約						実施に係る調整				
必要人員の確保							配置基準や体制等の検討											
2.1.7 テストイベント																		
テストイベント計画						計画の作成												
テストイベントの実施														競技ごとに順次実施				
2.1.8 クラス分け																		
クラス分け実施・運営		IPC、APC、IFと	実施・CF	APC経由で各IFへ実施およびCCF任命について申請														
ガイドライン発行								情報取りまとめ、発行、更新										
備品調達								各競技・VI検査について備品リスト作成										
大会時のクラス分け運営								●会場決定										
2.1.9 リペアサービス																		
実施内容・方法検討																		
要件整理																		
運営方法検討、運営																		
2.1.10 スポーツプレゼンテーション																		
実施内容検討・要件整理								APCとの協議、実施内容等の検討										
スポーツプレゼンテーション計画第1版提出																		

2.2 式典及び文化プログラム

○ 概要

- 芸術・文化分野の専門家の意見を踏まえて計画の検討・策定を行います。

2.2.1 開会式及び閉会式

○ 概要

- 開催日：【開会式】2026年10月18日（日）
【閉会式】2026年10月24日（土）
- 会場：名古屋市瑞穂公園陸上競技場（メインスタジアム、30,000人収容）
- 出席者：選手・チーム役員、APCファミリー、メディア関係者、観客等
- 実施内容：パフォーマンス及び式典

○ 制作体制

- 企画制作に当たっては、まず基本的な方針等を定める基本プランを2024年半ばまでに作成します。基本プランは大会スローガン「IMAGINE ONE HEART」と六つのコンセプトに基づき、芸術分野の専門家を始め、スポーツ、経済界、行政関係者等、外部有識者の意見を踏まえて検討・決定を行います。
- 基本プランの作成後、式典内容、準備・運営計画等について定める実施プランを2024年末までに作成します。実施プランの作成後、演出に係る総合統括を選任した上で制作チームを編成、演出内容を検討・決定し、制作を開始します。

○ 計画提出

- 開・閉会式のプログラムなどについては、APCと協議の上作成します。
- 招待者についてはAPCと事前に調整を実施します。
- プログラムについては、入場行進までの待ち時間を短縮するなど、参加するアスリートの負担としない形式で実施します。

2.2.2 入村式

○ 概要

- 会 場：名古屋市内会議施設（予定）
- 出 席 者：各 NPC 選手団長等
- 実施内容：選手団入場、村長挨拶、記念品贈呈、芸術パフォーマンス等
 - ・ オンライン併用のハイブリッド方式での実施を検討します。

2.2.3 聖火リレー

○ 概要

- 聖火リレーは、大会本番を迎える直前に多くの人々の注目と関心を集め、大会開催の機運醸成や祝祭感を盛り上げるため実施します。
 - ・ 実施地域：愛知県内の各自治体及び県外の競技会場所在自治体でそれぞれ採火し、愛知・名古屋大会にふさわしい場所で各自治体から持ち寄った聖火を一つにする集火式を実施することとし、その場所や内容を検討します。
 - ・ 実施期間：各自治体での採火式～大会開会式まで（採火式～2026年10月18日）
 - ・ 聖火点灯期間：大会開会式～大会閉会式まで（2026年10月18日～24日）

○ トーチ

- 聖火リレーで使用するトーチのデザインについては、開催都市である愛知・名古屋を想起させるデザイン案を作成し、製造を行います。

2.2.4 文化プログラム

○ 概要

- 日本、愛知・名古屋の歴史、文化芸術、自然環境、産業といった様々な資源を紹介することにより、アジア各国の人々に地域の魅力を発信します。また、アジア域内の多様な文化や価値観を共有する取組みとして、大会関係者と県民・市民が交流を深めることができるイベントや、協調的な国際関係及び友好関係の推進に貢献する文化プログラムを大会前・中・後に愛知県内の各自治体及び県外の競技会場所在自治体で、大会期間中に競技会場等で開催都市と連携して実施するよう検討します。

第2章 式典及び文化プログラム

○ 文化プログラムの実施

- 文化プログラムの実施場所・時期は以下のとおりとします。

実施場所	実施時期
県内自治体 競技会場所在自治体	2025年10月18日～2026年12月31日
競技会場等	2026年10月18日～10月24日

❖ ロードマップ

2.2 式典及び文化プログラム	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	
2.2.1 開会式及び閉会式																	
実施内容の検討		過去大会調査、実施内容の検討															
制作体制の構築					基本プラン、実施プランの作成、制作チームの編成												
演出内容の検討・決定・制作									演出内容の検討・制作								
聖火台の作成							デザイン・仕様検討					製造					聖火台点灯
閉会式の実施																	閉会式の実施
2.2.2 入村式																	
入村式				検討					計画策定								入村式の実施
2.2.3 聖火リレー																	
計画策定		自治体との調整、計画策定															
トーチの制作						デザイン検討						製造					●公表
聖火リレーの実施																	聖火リレーの実施
2.2.4 文化プログラム																	
計画検討		自治体との調整、認証制度策定															
コンテンツの検討及び関係団体との調整									コンテンツ検討及び実施の調整								
文化プログラムの実施																	文化プログラムの実施

2.3 競技大会施設

2.3.1 競技会場

○ 概要

- メインスタジアム：名古屋市瑞穂公園陸上競技場（開会式及び閉会式、陸上競技）
収容能力－30,000 席、2026 年 3 月竣工予定
- 競技会場数：19 会場
- 万全な競技会場運営に向けた準備を進めています。
- 全ての競技会場において、適切なアクセシビリティを確保するため、丁寧に対応します。
- IF/AF による視察を行い、合意を得た上で、順次 APC に報告し、承認を得ます。
- 会場決定後は IF/AF、TD と運用について調整します。
- 大会運営用としてトランシーバーなどの無線通信機器を活用できるよう、無線機器の周波数割当を申請します。
- 観客がスマートフォンなどの携帯端末を通じて、大会情報を入手できるようにするため、無線 LAN サービスの導入を検討します。

○ 会場運営マニュアルの作成

- モデル会場運営計画を参考にし、会場概要、競技概要、スケジュール、運営体制、会場レイアウト、警備計画などの各種計画を集約した会場ごとの会場運営計画を作成します。
 - Ver.1：2025 年 3 月までに作成
 - Ver.2：2026 年 8 月までに作成

○ 会場マップ




○ 競技会場一覧

	競技	種別	競技会場
1	アーチェリー		① 岡崎中央総合公園多目的広場他
2	陸上競技		② 名古屋市瑞穂公園陸上競技場
3	バドミントン		③ 一宮市総合体育館
4	ポッチャ		④ 名古屋市総合体育館 [レインボーホール]
5	自転車競技	トラックレース	⑤ 伊豆ベロドローム
		ロードレース	⑥ 日本サイクルスポーツセンターサーキット
6	ブラインドフットボール		⑦ 名古屋市鶴舞公園多目的グラウンド[テラスポ鶴舞]
7	ゴールボール		⑧ 豊橋市総合体育館
8	柔道		⑨ 愛知県武道館
9	パワーリフティング		⑩ 名古屋市中小企業振興会館
10	射撃		⑪ 愛知県総合射撃場
11	バレーボール (座位)		⑫ 岡崎中央総合公園総合体育館
12	水泳		⑬ 名古屋市総合体育館 [レインボープール]
13	卓球		⑭ スカイホール豊田
14	テコンドー		⑮ 名古屋市瑞穂公園体育館
15	車いすバスケットボール		⑯ 愛知県新体育館 [愛知国際アリーナ]
16	車いすフェンシング		⑰ 名古屋市稲永スポーツセンター
17	車いすラグビー		⑱ ウイングアリーナ刈谷
18	車いすテニス		⑲ 名古屋市東山公園テニスセンター

1	アーチェリー
---	--------

	競技会場	1. 岡崎中央総合公園多目的広場他
	整備方法	仮設
	観客席数	未定

2	陸上競技
---	------

	競技会場	2. 名古屋市瑞穂公園陸上競技場
	整備方法	改築
	観客席数	約 30,000 席

© 2021 (株)瑞穂LOOP-PFI

※画像はイメージです。デザインなどは変更になる場合があります。

3	バドミントン
---	--------

	競技会場	3. 一宮市総合体育館
	整備方法	既存
	観客席数	約 2,000 席


4

ボッチャ

	競技会場	4. 名古屋市総合体育館[レインボーホール]
	整備方法	既存
	観客席数	約 5,000 席

5

自転車競技

	競技会場	5. 伊豆ベロドローム (トラックレース)【静岡県】
	整備方法	既存
	観客席数	約 1,800 席
	競技会場	6. 日本サイクルスポーツセンター サーキット (ロードレース)【静岡県】
	整備方法	既存
	観客席数	未定

6

ブラインドフットボール



競技会場

7. 名古屋市鶴舞公園多目的グラウンド[テラスポ鶴舞]

整備方法

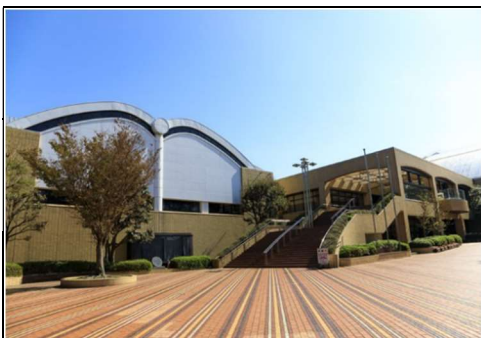
既存

観客席数

未定

7

ゴールボール



競技会場

8. 豊橋市総合体育館

整備方法

既存

観客席数

約 3,000 席

8

柔道



競技会場

9. 愛知県武道館

整備方法

既存

観客席数

約 1,500 席

9

パワーリフティング

	競技会場	10. 名古屋市中心企業振興会館
	整備方法	既存
	観客席数	未定

10

射撃

	競技会場	11. 愛知県総合射撃場
	整備方法	一部改築
	観客席数	未定

11

バレーボール（座位）

	競技会場	12. 岡崎中央公園総合体育館
	整備方法	既存
	観客席数	約 4,900 席

12 水泳

	競技会場	13. 名古屋市総合体育館[レインボープール]
	整備方法	既存
	観客席数	約 3,500 席

13 卓球

	競技会場	14. スカイホール豊田
	整備方法	既存
	観客席数	約 4,400 席

14 テコンドー

	競技会場	15. 名古屋市瑞穂公園体育館
	整備方法	既存
	観客席数	約 1,200 席

15

車いすバスケットボール

	競技会場	16. 愛知県新体育館 [愛知国際アリーナ]
	整備方法	新築
	観客席数	最大 15,000 席

©Aichi International Arena Co.,Ltd.

画像はイメージです。デザインなどは変更になる場合があります。

16

車いすフェンシング

	競技会場	17. 名古屋市稲永スポーツセンター
	整備方法	既存
	観客席数	約 3,400 席

17

車いすラグビー

	競技会場	18. ウイングアリーナ刈谷
	整備方法	既存
	観客席数	約 2,400 席

18

車いすテニス

	競技会場	19. 名古屋市東山公園テニスセンター
	整備方法	一部改築
	観客席数	約 4,000 席

❖ ロードマップ

2.3 競技大会施設	2023年				2024年				2025年				2026年				27年	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4		
2.3.1 競技会場																		
競技会場の承認																		
IF/AF、TDとの調整																		
会場運営マニュアルの作成																		

2.4 宿泊

2.4.1 選手団宿泊施設

○ 概要

- 選手団宿泊施設は、従来の大会のように新たに整備するのではなく、複数の既存の宿泊施設を活用し、必要な機能・サービスを提供します。
- 選手団宿泊施設として必要な機能・サービスについては、既存の宿泊施設の活用等により確保します。
- 障害の種類や程度、競技会場との位置関係等を勘案し、アクセシビリティが確保された快適な選手団宿泊施設を提供します。
- 同一の競技参加選手・チーム役員に対しては同一水準の滞在環境（機能・サービス）を提供します。
- 業界団体や旅行会社などと連携して宿泊施設を確保するとともに、選手・チーム役員を受け入れる体制や宿泊管理システムを構築します。

○ 収容人数

- 選手・チーム役員 3,600 人から 4,000 人のために選手団宿泊施設を適切に提供します。最終的な確保数等については、今後、APC との協議により、決定します。

○ 運営

- 選手団宿泊施設では、客室の他、輸送、警備、飲食、医療、インフォメーションデスク、ランドリー、フィットネス、ラウンジ等の選手団サービスを提供します。
- 選手・チーム役員は、原則として競技ごとに宿泊施設を割り当てますが、選手団規模が小さく、選手団スタッフの分散が困難な場合などは選手団ごとに配宿することを含め、柔軟に対応します。 ※過去大会における選手団規模や参加競技などにより判断
- NPC による各 NF のサポートがスムーズに行えるよう、各宿泊施設に Wi-Fi を完備し、オンラインミーティングの環境を整えます。
- 宿泊施設内の客室及び諸室の割り当ては政治的、文化的、宗教的な特徴等に配慮します。
- 大会関係エリアの入口にセキュリティチェックポイントを設け、アクレディテーションカードチェックにより関係者以外の入場を防止するとともに、身体検査や手荷物検査により危険物の持ち込みを防止します。
- 食文化や宗教に配慮するとともに、アスリートに必要な栄養摂取に配慮した食事を提供します。
- 地震、火災等が発生した場合の対応について、自力での避難が難しい方の避難方法の確保

を図るなどの対応の強化を促進します。

- 大会開催に向けて、運営に関する計画やマニュアルを作成するとともに、運営に関する試行やトレーニングを行います。

○ 選手団サービスセンターの運営

- 選手団長・選手団役員の宿泊施設、選手団長会議室、選手団サービスセンター及び選手団オフィスの提供などの選手団サービスは、交通の利便性の高い施設において、集中的に提供します。

○ 選手間交流等

- 県内にあるシンボリックな施設に、選手・関係者のみが入場可能な特設交流エリアを設置します。
- 県内の様々な地域で、選手や来訪者等に対するホスピタリティ溢れる対応を検討します。

2.4.2 大会関係者（選手・チーム役員以外）⁴宿泊施設

○ 概要

- 大会関係者に対し、必要な大会サービスとアクセシビリティが確保された適切な宿泊施設を提供します。
- 業界団体や旅行会社などと連携して宿泊施設を確保するとともに、大会関係者を受け入れる体制や宿泊管理システムを構築します。
- 宿泊施設では、宿泊者に対して必要な情報を伝える体制を構築します。

○ 宿泊対象者

- APC ファミリー
 - ・ 大会公式ホテルに必要な機能を考慮し、宿泊施設を用意します。
 - ・ 大会公式ホテルの一つを本部ホテルとし、必要な諸室を設置します。また、本部ホテルあるいは本部ホテルに近接したホテルにおいて、各種会議を開催できる体制を整えます。
 - ・ APC ファミリーに対しては、最大宿泊数 800 を上限として提供します。また、最大宿泊数 800 を超えて宿泊する場合においては、当該超過分を別途 APC と協議して決定した合理的な価格で提供するよう努めることとします。
 - ・ なお、上記宿泊人数及び宿泊期間は、大会 12 か月前までに APC から提供されるものとします。

⁴ 大会関係者（選手・チーム役員以外） APC ファミリー/競技大会役員/メディア等

- 競技大会役員
 - IF 技術代表並びに国際及び国内競技大会役員を含む最大 800 人のために、全食事付きのホテルの部屋を無償で提供します。
 - なお、競技大会役員ホテルを提供される者の範囲及び競技大会役員ホテルに関するその他の条件は、APC との協議によって決定します。
- メディア
 - メディアの人員のために、宿泊料が妥当である、適切なホテルへの宿泊が可能となるように援助します。
 - なお、メディアの人員は、自身の責任で宿泊施設を予約して支払いを行うこととします。

○ 運営

- 過去大会等を参考に、関係者ごとに必要な機能を備えた宿泊施設を選定し、サービスを提供します。

❖ ロードマップ

2.4 宿泊	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.4.1 選手団宿泊施設																	
使用宿泊施設の検討調整																	
宿泊施設との交渉、契約締結																	
宿泊管理体制の構築																	
諸機能・運営の検討																	
運営マニュアル作成																	
運営試行・トレーニング																	
2.4.2 大会関係者(選手・チーム役員以外) 宿泊施設																	
使用宿泊施設の検討調整																	
宿泊施設との交渉、契約締結																	
宿泊管理体制の構築																	
ステークホルダーごとに合わせた諸機能・運営の検討																	

2.5 競技大会要員

○ 概要

- 大会の準備・運営に必要な組織体制の構築、専門人材等の確保、職員への研修等を行います。
- 大会を盛り上げるために不可欠なボランティアやユニフォームについて検討・実施していきます。

2.5.1 組織・人材

○ 組織体制・人員

- 人員計画
 - 必要人員を踏まえた人員計画を策定し、大会開催に向けて組織体制を強化します。
 - 大会計画の進捗に伴い、随時更新していきます。
- 大会開催時体制計画
 - 大会開催時の競技会場を中心とした組織体制や必要人員を踏まえた大会開催時体制計画を策定します。
 - 大会計画の進捗に伴い、随時更新していきます。

2.5.2 人材の採用・確保

○ 専門人材等の採用

- 専門知識を持つ民間人材の重点的な採用
 - 専門性の高い分野については、重点的に確保することとし、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の業務経験者などの人材を積極的に採用していきます。
- 競技運営要員の計画的な採用
 - 競技団体等からの推薦を受けた者を競技運営要員として計画的に採用していきます。

○ 大会開催時の人材の確保

- 大会短期人材の確保
 - 通訳など他の要員が提供できない専門知識やスキルを要する分野の業務については、関係機関等へ依頼や委託等により短期的な専門人材を確保していきます。
 - ボランティアを割り当てられない分野には愛知県・名古屋市などの関係機関により、人材の確保をしていきます。

2.5.3 ボランティア

○ ボランティア計画の策定

- ボランティア運営要件
 - ボランティア想定人数…12,000 人
 - 全体スケジュールの作成、活動内容及びポスト数の精査、活動条件（年齢要件、語学要件、活動日数、1 日あたりの活動時間等）や待遇（ユニフォーム、ボランティア保険、食事等）の整理を行います。
- ボランティア配置計画
 - 各 FA の必要ボランティア数や役割、必要スキルについて、調整（Ver.1）し、募集前（Ver. 2）やボランティア採用決定後（Ver.3）に更新していきます。

○ ボランティアの募集及び選考

- 募集に向けた機運醸成イベントを実施します。
- 広報活動を強化して優秀な人材を募集します。
 - チラシやインターネット（SNS 等）、イベントなどの各種 PR メディアを積極的に活用します。
 - 大学、ボランティア団体、市民団体及び企業と調整・連携し、募集を促進します。
- 採用イベントを実施し、ボランティアの選考をします。
 - 活動概要説明を行って、大会の知識を深めてもらったり、グループワークを行い、適性を審査したりします。

○ ボランティア登録システム

- ボランティア登録システムを外部に発注し、ボランティア登録情報を基にアクセシビリティカードを発行します。

2.5.4 教育・研修

○ 職員の研修

- 大会の準備・運営に必要な専門知識やスキルを職員が習得できるように適切な研修を実施します。
 - 全体研修、階層別研修、部門別研修等を実施します。

○ ボランティアの研修

- 共通研修：E-ラーニングで共通の知識や留意事項、障害者等への接遇及びアウェアネス等

について研修を実施します。

- リーダー研修：リーダーとなる方に、リーダーの心得や求められる役割、活動における留意点について研修を実施します。
- 役割別研修：各役割に合わせて活動内容や、当日の動きとイメージ、留意点について研修を実施します。
- 会場別研修：会場の各施設の案内やその会場で実施する競技の概要、避難経路等について研修を実施します。

○ 技術スタッフの研修

- 共通研修：E-ラーニングで共通の知識や留意事項、障害者等への接遇及びアウェアネス等について研修を実施します。
- 役割別研修：各役割に合わせて活動内容や、当日の動きとイメージ、留意点について研修を実施します。
- 会場別研修：各会場で実施する競技の運営概要や、活動における留意点について研修を実施します。

2.5.5 ユニフォーム

○ デザインの作成

- ガイドラインに沿ってデザインを作成し、APC 承認を得たものでユニフォームを作成します。

○ 調達・配布計画

- ユニフォーム数の調整をおこない、調達・配布します。

❖ ロードマップ

2.5 競技大会要員	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.5.1 組織・人員																	
人員計画	[Blue bar spanning 2023 Q1 to 2026 Q4]																
大会開催時体制計画	[Blue bar spanning 2023 Q1 to 2026 Q4]																
2.5.2 人材の採用・確保																	
専門人材等の採用	[Blue bar spanning 2023 Q1 to 2026 Q4]																
競技運営要員の登用																	
大会短期要員の確保																	
2.5.3 ボランティア																	
ボランティア運営要件																	
ボランティア配置計画																	
機運醸成イベント																	
広報活動																	
関係団体調整・連携																	
募集・採用イベント																	
ボランティア登録システム																	
2.5.4 教育・研修																	
職員の研修	[Blue bar spanning 2023 Q1 to 2026 Q4]																
ボランティアの研修																	
技術スタッフの研修																	
2.5.5 ユニフォーム																	
デザイン作成																	
調達・配布計画																	

2.6 競技大会の物品

2.6.1 調達

○ 概要

- 大会の開催に必要な物品等を調達します。
 - 大会運営に必要な物品等の種類や数量を把握するため、調達計画を作成し、更新します。
 - 調達計画を踏まえ、必要な物品等を適切な時期に調達します。
 - 大会終了後に不要となった物品を適切な方法で処分します。

2.6.2 レートカード

○ 概要

- 選手、メディア関係者等が大会期間中に使用する物品及びサービスをレンタル等で提供します。
 - 物品及びサービスをまとめたレートカードカタログを作成し、2025 年 3 月までに APC に提出します。
 - 各国ステークホルダー代表者から注文を受けるための専用ポータルを 2025 年 6 月までに稼働します。

2.6.3 通関（税関）

○ 通関

- 日本国の法令に基づく通関手続を実施します。
- 選手・チーム役員、審判員等が使用する大会関連物資及び機材並びにメディアの使用する物資及び機材等に係る通関手続の合理化、迅速化について、関係機関に協力を要請します。
- 銃、弾薬等の特別な品目の容易かつ迅速な輸出入のために必要な措置について関係機関と協議します。
- 通関・フォワーディングガイドを作成し、関係者に配付します。

○ 関税

- 関係機関に対して、必要な器材や用具が現行の法令の範囲において、必要な手順の上で、関税の支払いが免除となるよう働きかけます。

❖ ロードマップ

2.6 競技大会の物品	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.6.1 調達																	
調達計画			計画作成	●			計画更新・精査	●			計画更新・精査	●					
物品役務等の調達																	
処分																	
2.6.2 レートカード																	
レートカードカタログ			品目・運用検討				APC提出	★	SH提示	●	更新		調達				提供
システム運用・実施						要件定義	開発&テスト		稼働	●							
2.6.3 通関（税関）																	
通関手続きに関する情報収集と関係省庁への調整							関係省庁との調整										
通関・フォワーディングガイドの作成・発行																	ガイド発行

2.7 輸送

○ 概要

- 大会関係者に対し、円滑な輸送サービスを提供します。
- 円滑な輸送サービスの提供に向けて、交通事業者など各関係機関とも協働し、輸送計画の検討・策定を行います。
- 運転要員や車両及び車両待機場の確保に向けて、交通事業者等の各関係機関と協力体制を構築します。

2.7.1 輸送実施体制

- 交通事故等、不測の事態においても、遅滞なく各会場に到着できるよう適切に対応できる体制を構築します。
- 輸送サービス提供期間において、輸送全体の判断及び輸送に関する各種サービスの手配管理を行う輸送本部を設置し、各会場等との連絡・調整を行い、円滑な輸送サービスを提供します。
- 交通事業者等の各関係機関と協力体制を構築し、適切な輸送サービスの提供を実施します。
- 大会関連施設周辺の交通の特性を踏まえ、大会に係る円滑な輸送の実現と都市活動の安定が図られるよう、自家用車利用の抑制や会場周辺の通行を控えるよう広報を行う等の交通需要抑制対策を計画します。

2.7.2 到着/出発時の輸送

- 大会関係者の出入国時に大会公式空港（中部国際空港を想定）と宿泊施設との間を移動するための適切な輸送サービスを提供します。

2.7.3 開会式及び閉会式時の輸送

- 開会式及び閉会式時には、多くの関係者バスが来場するため、交通規制の実施などについて関係機関と協議・調整し、円滑な輸送を実現します。

2.7.4 競技時の輸送

○ 選手・チーム役員

- 選手・チーム役員の選手団宿泊施設を起点として、競技日程及び練習日程に従い、各競技会場、練習会場間を専用バスで移動できる輸送サービスを提供します。
- 個人競技については、あらかじめ計画された時刻に出発するシャトルバスサービスを提供します。
- 団体競技については、競技会場・練習会場への移動のために、各チームにバスを提供します。
- 車種については、車いすのまま利用できるタイプのバスも利用します。

○ APC ファミリー

- APC ファミリーに対しては、各々のア kreditation カードに示された輸送コードに従い輸送サービスを提供します。
- T 1 — 運転手付きの、専用の乗用車による輸送サービス
- T 2 — 運転手付きの、複数名で共用する乗用車による輸送サービス
- T 3 — 大会関係の拠点間を移動できる、共用の乗用車による輸送サービス

○ 競技大会役員

- 競技大会役員の宿泊施設を起点として、競技日程に従い、各競技会場へ移動するための輸送サービスを提供します。

○ メディア

- メインメディアセンター、メディア関係者宿泊施設、競技会場間を移動できる輸送サービスを提供します。

○ 観客

- 観客の来場は公共交通機関を基本とし、必要に応じ最寄駅と競技会場を結ぶシャトルバス等の輸送サービスも検討します。

2.7.5 輸送計画の策定

- 輸送経路等について定めた輸送計画を策定し、大会 2 年前までに APC に提出します。

第2章 輸送

❖ ロードマップ

2.7 輸送	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.7.1 輸送実施体制																	
実施体制の検討	■																
輸送本部運用準備・設置									■								
輸送サービスレベルの調整									■ 各SHとの調整								
運転要員及び車両確保のための事業者との調整・確保	■								■ 車両・運転要員調達								
交通需要抑制対策									■ 運行計画作成								
									■ 抑制方法・広報内容検討								
													■ 輸送広報実施				
2.7.2 到着/出発時の輸送																	
到着/出発時の輸送の検討	■								■								
運用準備									■								
2.7.3 開会式及び閉会式時の輸送																	
開会式及び閉会式時の輸送の検討	■								■								
運用準備									■								
2.7.4 競技時の輸送																	
競技時の輸送の検討	■								■								
運用準備									■								
2.7.5 輸送計画の策定																	
運営計画の検討	■				■ 輸送経路等の検討				■ APC提出								
					■ 道路・交通管理者と調整				★								
運営にかかる調整									■ 道路工事・交通規制調整								

2.8 情報技術

2.8.1 アジアパラ競技大会情報システム（APGIS）

- 大会の運営を支援する「大会管理システム（GMS）」や競技結果の収集・管理を行う「大会結果システム（GRS）」、パソコンやスマートフォンなどの媒体に競技結果を配信するためのシステム「情報配信」、監視など大会システムの正常稼働を支える「大会支援システム」で構成する APGIS を開発・運用します。
- アクセシビリティを確保するために APC と協議し APGIS を修正します。また、必要に応じてコンサルタントを選任します。
- APGIS の構築・運用に必要な施設の設置、クラウドやハードウェアを準備します。
- 大会 2 年前までに技術計画・サービス実施計画の第 1 版を作成し、APC に提出します。



2.8.2 電気通信サービス

- APGIS の運用を滞りなく行うため、安定した通信が確保できるようネットワーク環境を整備し、併せて必要な電力を確保します。
- 外部からの攻撃や侵入など情報セキュリティ上のリスクに備えて必要な対策を講じます。

⁵ IIS（Internet Interface System）インターネット向けの情報配信システム。Games INFO（INFO/MY INFO）は大会関係者向けの情報配信システムのこと。

2.8.3 気象情報

- 大会運営の安全性確保や選手の戦略策定に資するため、気温や降水量等の気象情報を入手し、APGIS を通じて大会関係者や観客に提供します。

2.8.4 計時計測及び掲示板

- アジア競技大会からスムーズな会場転換を実現するため、会場システムの転換プランを検討・作成します。
- テストイベント等によりシステム検証を実施し、正確に計時・計測する「計時計測システム（T&S）」や、競技に関する情報を集約して正しい結果を配信する「リザルトシステム（VRS）」、競技のために必要な掲示板（SSCB）を設置・運営します。

❖ ロードマップ

2.8 情報技術	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.8.1 アジアパラ競技大会情報システム																	
大会システム要件定義																	
大会システム設計・開発																	
大会システム運用																	
クラウド																	
ハードウェア																	
技術計画・サービス実施計画 第1版 の提出																	
2.8.2 電気通信サービス																	
通信ネットワーク概略計画																	
通信ネットワーク設計・構築																	
通信ネットワーク運用																	
セキュリティ対策																	
2.8.3 気象情報																	
提供体制の検討・実施																	
2.8.4 計時計測及び掲示板																	
競技会場システム転換プランの作成																	
システムの検証																	

2.9 メディア

2.9.1 メインメディアセンター（MMC）

- 国際放送センター（IBC）とメインプレスセンター（MPC）を統合した一体的な施設として MMC を設置します。
- 設置場所：名古屋市国際展示場（第3展示館、コンベンションセンター、交流センター）

2.9.2 放送

○ 概要

- 放送映像制作体制を構築し、放送映像・音声を制作・配信します。
- APC と協議して決定するメディアサービス及び放送要件に従い、放送権者にサービスを提供します。
- 大会時の円滑な運営のため、大会までのホスト放送局（HB）業務のスケジュールをまとめた HB 総合計画を策定します。

○ 放送映像制作体制の構築

- 過去大会における実績などを踏まえ、放送映像制作体制の構築に向けて、撮影対象となる会場の調査などを行います。

○ 国際放送センター（IBC）の運営

- 放送映像の分配及び配信、放送権者が制作する国・地域に特化した（ユニラテラル）映像・音声の制作などを行う IBC を運営します。

2.9.3 報道（新聞・雑誌・テレビ・インターネットメディア等）

○ 概要

- 国内外の記者に対し、必要なサービスを提供し、報道活動における利便性の向上を図ります。
- 専門的な立場から各種アドバイスなどを行う報道分野の専門家と協働しながら、メディアサービスを検討します。

○ MMCにおけるプレスオペレーション

- 概要
 - ・ MMCにMPCを設置し、報道活動を支援します。
- 提供サービス
 - ・ 過去大会や類似大会を参考に、報道関係者のニーズを勘案し、必要な施設を用意します。
 - ・ 設置想定施設…プレスワークスペース、フォトワークスペース、記者会見場、各報道機関のオフィス、メディアラウンジ、インフォメーションデスクなど
 - ・ 各施設において、電源、通信環境など作業のために必要な機能を提供します。

○ 競技会場におけるプレスオペレーション

- 概要
 - ・ 各競技会場にサブプレスセンター（SPC）を設置し、報道活動を支援します。
- 提供サービス
 - ・ 過去大会や類似大会を参考に、競技会場の規模やメディアのニーズを勘案し、必要な施設を提供します。
 - ・ 設置想定施設…ワークスペース、記者会見場、ミックスゾーン⁶など
 - ・ 記者会見場については、会場ごとに必要性を検討の上、設置の有無を決定します。
 - ・ 各施設において、電源、通信環境など作業のために必要な機能を提供します。

2.9.4 メディアサービス

○ 情報提供

- 競技情報：競技日程、スタートリスト、競技結果等の情報を提供します。
- プレスリリース：競技情報以外の大会情報、APC や AINAGOC などからの情報を提供します。
- 情報については、大会ウェブサイト、エクストラネット⁷、INFO/MY INFO⁸、プレスハンドブックなどの手段により提供します。

⁶ ミックスゾーン メディアが競技を終えた選手にインタビューをすることができる、競技会場に用意された取材場所のこと。

⁷ エクストラネット 大会開催前より、メディアサービスの内容や取材環境についてメディア向けに発信するためのウェブサイトのこと。

⁸ INFO/MY INFO 大会期間中に、競技に関する情報やメディアサービスに関する情報をメディア向けに発信するためのシステムのこと。

第2章 メディア

○ 言語サービス

- MMC や競技会場などにおいて、言語サービスを提供します。
- 対応言語については、メディアのニーズを踏まえ、検討します。

❖ ロードマップ

2.9 メディア	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.9.1 メインメディアセンター (MMC)																	
基本計画	■																
基本設計		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					
実施設計									■	■	■	■					
機器製作・施工・維持管理									■	■	■	■	■	■	■	■	
撤去・現状復旧																	■
2.9.2 放送																	
HB総合計画の作成			■	■	■	■											
放送映像制作体制の検討					■	■	■	■	■	■	■	■					
放送映像制作体制の構築									■	■	■	■	■	■	■	■	
IBCの施工 (HB工事部分) ・運営																	●
2.9.3 報道																	
MMCプレスオペレーション基本計画の作成	■	■	■	■	■	■											
MMCプレスオペレーション実施計画の作成					■	■	■	■	■	■	■	■					
MMCプレスオペレーションマニュアルの作成									■	■	■	■	■	■	■	■	
MMCプレスオペレーションの実施																	■
ベニュープレスオペレーション基本計画の作成	■	■	■	■	■	■											
ベニュープレスオペレーション実施計画の作成					■	■	■	■	■	■	■	■					
ベニュープレスオペレーションマニュアルの作成									■	■	■	■	■	■	■	■	
ベニュープレスオペレーションの実施																	■

2.9 メディア	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.9.4 メディアサービス																	
エクストラネットに関する検討	■	■	■	■													
エクストラネットに関する設計、開発					■	■	■	■	■	■	■	■					
エクストラネットの運用													■	■	■	■	
競技に関する情報発信に関する検討 (my info)	■	■	■	■													
競技に関する情報発信に関する設計・開発 (my info)					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
競技に関する情報発信に関する情報提供 (my info)																	
プレスハンドブックの作成					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	●
プレスリリース				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
言語サービスの検討、提供				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	

2.10 国際関係

2.10.1 APC との協力

- APC 総会等 APC が主催する国際会議に必要な応じて出席し、開催準備の進捗を報告します。
- APC と AINAGOC の間の連絡体制を確立します。
- 2.10.3 に掲げる各種 APC の会議（APC 理事会など）を手配することに協力します。

2.10.2 NPC との協力

- 各国の担当者を準備段階に応じて配置し、ネットワークを構築し、NPC へ大会に関する情報の提供、課題解決のサポートなどの、必要な調整等を行います。
- 言語文化や習慣を含め APC 加盟団体について理解を深めます。
- APC 総会等を通じて、NPC への情報発信や情報収集に努めます。NPC 選手団長会議等の機会を通じて、NPC への情報提供を行います。

2.10.3 会議

○ 調整委員会

- 日 程：大会期間終了までの間
- 出席者：調整委員会委員等
- 開催地：AINAGOC が用意する場所

○ APC 理事会

- 日 程：大会 2 日前
- 出席者：APC 理事等
- 開催地：AINAGOC が用意する場所

○ NPC 選手団長セミナー

- 日 程：大会前年
- 出席者：参加 NPC の選手団長等
- 開催地：AINAGOC が用意する場所

○ NPC 選手団長会議

- 日 程：大会期間中
- 出席者：参加 NPC の選手団長
- 開催地：選手団長会議室

○ Pre-DRM⁹、DRM

- 日 程：大会数か月前、大会直前
- 出席者：参加 NPC の選手団長等
- 開催地：AINAGOC が用意する場所

❖ ロードマップ

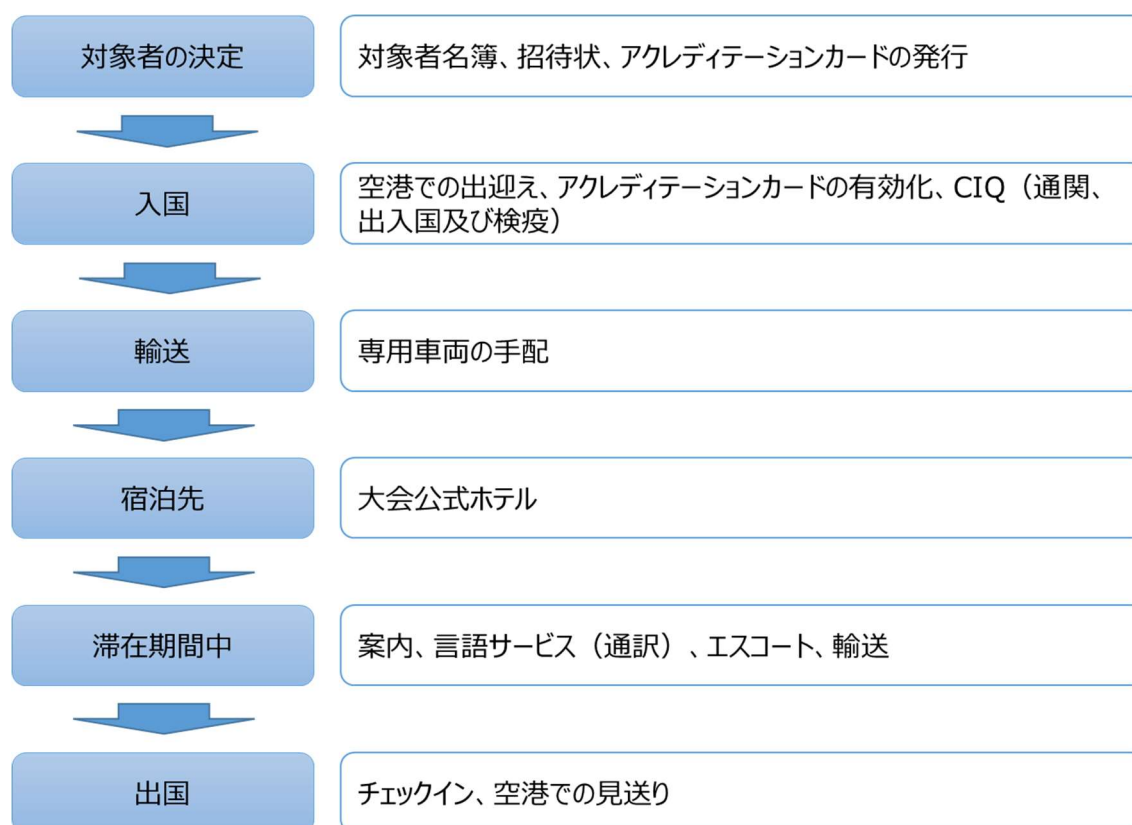
2.10 国際関係	2023年				2024年				2025年				2026年				27年	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
2.10.1 APCとの協力																		
APC総会等国際会議への出席																		
進捗報告（2年前まで；随時報告）																		
進捗報告（2年前以降；6か月毎）																		
連絡体制の確立（渉外部門の設置・拡充）																		
連絡体制の確立（人材育成、連携強化）																		
各種APC会議への協力																		
2.10.2 NPCとの協力																		
各国NPC担当者の配置（渉外部門の設置・拡充）																		
国際理解（言語文化・習俗習慣）																		
NPCへの情報発信・情報収集																		
2.10.3 会議																		
調整委員会																		
APC理事会																		
NPC選手団長セミナー																		
NPC選手団長会議																		
Pre-DRM、DRM																		

⁹ DRM（Delegation Registration Meeting）大会に参加する選手・チーム役員の数や氏名、競技種目への参加資格等について、NPCとAINAGOCが合意する場合のこと。

2.11 プロトコル

○ 概要

- 国内外の招待客を決定し、APCとの協議の上、公式招待状を送付します。
- 国際儀礼の対象者に対して、入国時から出国時まで国際的な基本儀礼、マナーに基づいた接遇を行います。
- 宿泊、輸送及び式典の各専門部門と国際儀礼を統括する専門部門が緊密に連携することにより国際儀礼サービスを円滑に実施します。



2.11.1 場所別プロトコル

○ 大会公式空港（中部国際空港を想定）

- 出迎えや見送り、エスコートなどのサービスを提供します。
- CIQ（通関、出入国及び検疫）を速やかに通過できるよう関係機関と調整し、対応します。

○ 大会公式ホテル

- APC ファミリーのために適切なホテルを選定し配宿します。
- インフォメーションデスクを設置し、専用車両の利用申し込みなどを受け付けます。
- APC ファミリー向けの親睦・交流プログラムを行います。
各々の認定に応じたプロトコルサービスを提供するものとし、その内容は今後検討します。

○ 開会式及び閉会式

- 円滑な入退場とセキュリティを両立するための出入口や動線、駐車場を設けます。
- VIP エリア、VIP ラウンジ、ファミリーエリア、ファミリーラウンジを設けます。

○ 競技会場

- 円滑な入退場とセキュリティを両立するための出入口や動線、駐車場を設けます。
- 競技情報の提供や、専用車両の利用申し込みなどを受け付けます。
- ファミリーエリア、ファミリーラウンジを設け、軽食を提供します。

2.11.2 プロトコル計画の策定

- プロトコル計画（第1版）を策定し、大会 18 か月前までに APC へ提出します。

❖ ロードマップ

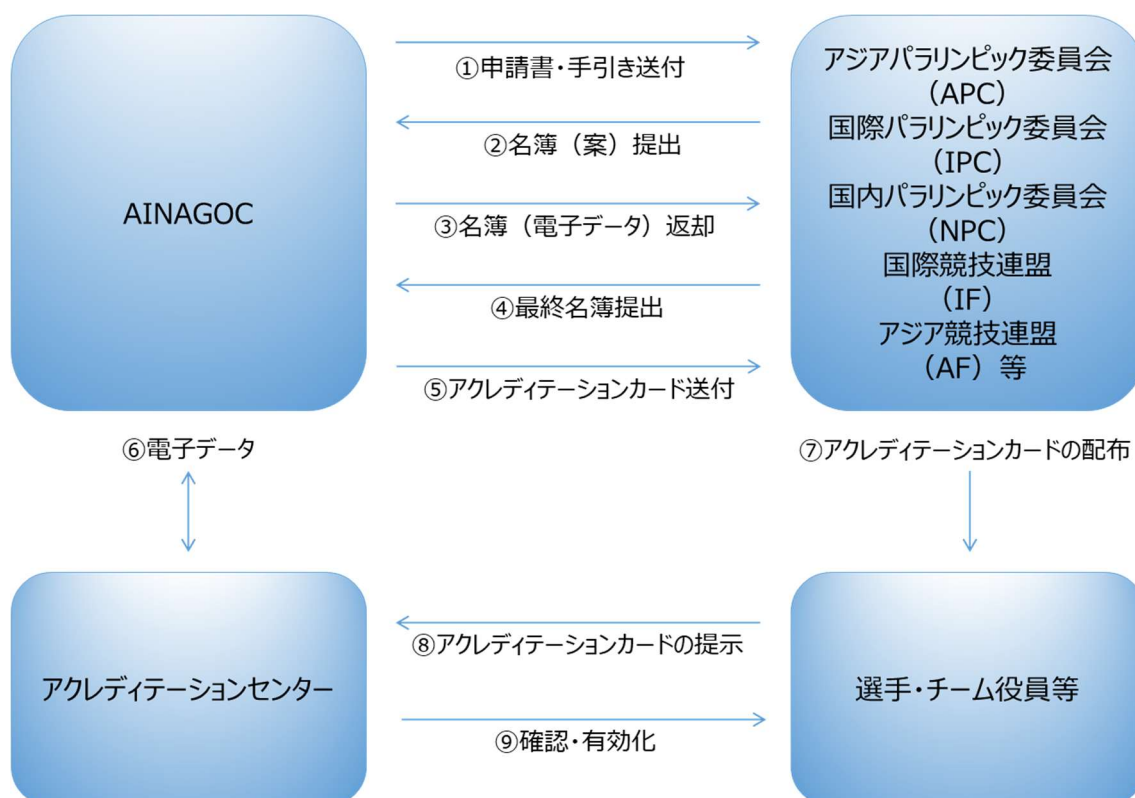
2.11 プロトコル	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.11.2 プロトコル計画の策定																	
プロトコルの検討																	

★プロトコル計画（第1版）APC提出

2.12 アクレディテーション

○ 概要

- 適切な資格を有する大会関係者のみが、適正な方法で大会関係施設内の必要なゾーンにアクセスできるよう管理を行い、大会運営において必要な役割を効率的かつ安全に果たせる仕組みを提供します。



2.12.1 アクレディテーションのカテゴリー設定

- アクレディテーションガイドラインを作成し、そのアクレディテーションカテゴリーを基にして、所属団体や大会での職務などに応じてアクセスできる施設やゾーンを体系的にカテゴリー分けします。
- 業務の遂行等のため臨時にアクセス権が必要となったものに対して、「ゲストパス」や「デイパス」「アップグレードカード」など臨時パスを発行できる体制を整えます。

2.12.2 入国手続とアクレディテーション

- 大会関係者の円滑な入国に資するため、アクレディテーションカードへの身分証明（ID）機能と査証の一時免除機能の付与について、関係省庁と協議します。

2.12.3 アクレディテーションセンター

- アクレディテーションカードの有効化や有効化後のアクレディテーションカードの再発行などの手続を行うアクレディテーションセンターを AINAGOC が指定する空港や MMC などの必要な施設に設置します。
- アクレディテーションカードの申請について、2025 年第 4 四半期以降に案内の送付及び受付などを行います。

❖ ロードマップ

2.12 アクレディテーション	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.12.1 アクレディテーションの категория 設定																	
アクレディテーションカテゴリー・臨時パス等の検討	基本計画作成				ガイドライン作成				★ APC提出								
2.12.2 入国手続とアクレディテーション																	
入国手続等に関する関係省庁協議	外務省・入管庁協議				● 関係省庁へ正式依頼文提出												
2.12.3 アクレディテーションセンター																	
アクレディテーションセンターの検討・調整					設置場所・仕様検討				運営マニュアル作成								
アクレディテーションカード申請受付・送付 (ACRシステム稼働)													システム登録 印刷・配布				

2.13 警備

○ 概要

- 日本における治安状況、国際的な安全保障状況を踏まえ、適切な警備ガイドライン・警備計画（以下「警備ガイドライン等」という。）を策定します。
- 警備ガイドライン等の策定にあたっては、警察・消防など各種関係機関と調整し、検討を行います。
- 警備ガイドライン等に基づき、警備員及び警備機器の確保を進めます。

2.13.1 実施体制

- 大会の実施時には警備に関する統括本部を設けるとともに、各競技会場を始めとする大会関係施設ごとに、現地拠点の設置を検討します。
- 競技会場、輸送、プロトコル部門などとも連携を取ることで、大会全体として、円滑な警備運営を実施します。
- 警察・消防等の各関係機関と協力体制を構築し、権限に応じた、適切な警備・対応を実施します。

2.13.2 対策

○ 競技会場

- 競技会場の内外に警備員等を配備します。
- 大会関係者と観客については、動線を分けるなどの対策を取り、事故や混乱の発生を防ぎます。
- 観客の入場においては、金属探知機などの警備機器を活用した身体検査や手荷物検査を実施することで危険物の持ち込みを防止します。また、関係者についても、これらの検査を実施します。
- 観客の大会関係者ゾーンへの立ち入りの禁止、VIPと観客の席を分けるなど、適切なゾーニングを実施するとともに、各ゾーンの境界には警備員等を配備してアクセスコントロールを行うなどの対策を講じます。

○ 選手団宿泊施設

- 大会関係エリア内外に警備員等を配備します。
- 大会関係エリアの入口にセキュリティチェックポイントを設け、アクセデーションカードチェックによ

り関係者以外の入場を防止するとともに、金属探知機などの警備機器を活用した身体検査や手荷物検査により危険物の持ち込みを防止します。

○ 開会式及び閉会式

- 多くのVIPの参加が見込まれ、観客数も多いことが予想されるため、十分な警備員の配置や警備機器の設置を行います。

○ メディアセンター、本部ホテル等その他の施設

- 施設の規模・内容や使用状況などに応じ、適切に警備員の配置や警備機器の設置を行います。

○ VIP及びファミリーの警備

- 警察など関係機関との協議を行い、対象者に応じた適切な措置を講じます。
- 競技会場での観戦時や行事参加時には、観客と動線を分ける、観客席とゾーンを分けるなどの措置を取ります。また、必要に応じて警備の増加など警備体制を強化します。

○ 車両

- 大会関係車両については、各施設への入場時に、必要に応じて検査を行います。
- 警備対象施設においては、入場車両は原則事前の許可制とし、一般車両の流入を防止します。

❖ ロードマップ

2.13 警備	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.13.1 実施体制																	
統括本部・現地拠点の設置・運営開始					体制/警備員等の確保の検討								各競技会場等との調整				
競技会場・輸送・プロトコル等他部門との連携						要件整理			計画調整			実施調整					
警察・消防等関係機関との調整					情報共有				協力要請			合同訓練等					
2.13.2 対策																	
警備ガイドライン(G)・各施設ごとの警備計画(P)の策定	V1策定(G)		V2策定(G)					最終稿策定(G)									
警備員及び警備機器の確保												★APC提出 契約・警備要員、資機材確保					

2.14 大会プロモーション

○ 概要

- 適切な時期に効果的な広報及び広告ができるよう、開催都市や APC と連携しながら開催国と参加国に対して計画的な宣伝活動に取り組みます。

○ 大会プロモーションのためのメディア計画

- メディアに対する広報計画や SNS の利用について定めたメディア計画を策定し、大会 2 年前までに APC に提出します。

○ 公式報告書

- 大会終了後 1 年以内に公式報告書（詳細及び概要版）を作成し、公表します。

2.14.1 インターネットの活用

○ 公式 Web サイトの設置・運営

- 期間：2024 年～2026 年

○ SNS（X（旧 Twitter）、Facebook、Instagram、YouTube 等）用アカウント

の運用

- 期間：2024 年～2026 年

○ 情報発信力のある媒体の活用

- 必要に応じ国際的に影響力のある媒体を活用して PR を行います。

2.14.2 PR イベント

○ 国内 PR イベント

- 期間：2023 年～2026 年
- 主な内容：開催都市と連携して、国内の大規模イベント（神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会を始めとする国際スポーツ大会など）に合わせた PR イベント、カウントダウンイベン

ト等を実施します。

○ シティドレッシング

- 期間：2025年～2026年
- 場所：主要アクセス道路、公共交通機関、競技会場周辺など
- 主な内容：開催都市と連携して、フラッグ、横断幕、カウントダウンボードの設置など広報及び広告の機会の確保に努めます。

○ APC 総会等での PR

- PRブースを設置し、大会の準備状況及び開催都市を紹介します。

○ 国際スポーツ大会等での PR

- 期間：2024年～2026年
- 主な内容：国際スポーツ大会等（パリパラリンピック大会を始めとする国際スポーツ大会など）で PRブースを設置し、大会の準備状況及び開催都市を紹介します。

○ PR アンバサダー

- 期間：2024年～2026年
 - ・ 知名度のあるスポーツ選手等を PR アンバサダーに任命し、その方を通じて大会概要及び開催都市を始めとする日本の魅力を紹介します。

○ 大学との連携

- 愛知県内全ての4年制大学（52大学）の学長（総長）が加盟する愛知学長懇話会と連携協定を締結し、学生が大会に関わる活動を通して、大会に主体的に関わり、成長に繋がる取り組みを実施します。
- 学生から募ったアイデアを学生と連携して実現し、大会 PR、機運醸成を図ります。
- 大会時には学生にボランティアとして参加し、活躍してもらえるよう連携を進めていきます。

○ 開催都市及び自治体との連携

- 杭州大会閉会式で引き継いだ APC 旗のレプリカを展示するフラッグツアーを実施するなど、開催都市及び自治体と連携し、積極的に大会 PR、機運醸成を図ります。
 - ・ 期間：2023年11月～2024年3月
 - ・ 場所：愛知県内54市町村
- 大会期間中に、ライブサイト（仮称）を設置し、大会の雰囲気会場外でも選手や住民が楽しむことができるような取り組みを検討します。
- 開催都市及び自治体と連携し、学校を通じて『I'mPOSSIBLE』日本版等を活用した教育

プログラムを実施することで、パラスポーツに対する理解及び機運醸成を図ることについて検討します。

2.14.3 報道対応

○ 国内メディアへの充実したコミュニケーション

- 期間：2023年～2026年
- 内容：主な国内メディアを対象に以下の対応を行います。
 - ・ 国内メディアとの協力関係の確立
 - ・ プレスリリースの発信
 - ・ 記者会見の実施
 - ・ 定期的な情報交換会の実施
 - ・ ファクトブックの作成及び配布

○ 海外メディアへのタイムリーな情報提供

- 期間：2024年～2026年
- 内容：海外メディアに対してタイムリーなプレスリリースの発信を行います。

2.14.4 刊行物

○ 大会ポスター・パンフレット

- 期間：2023年～2026年
- 大会ポスターやパンフレットを作成し、関係各所へ配布します。

○ ニュースレター

- 期間：2024年～2026年
- 大会関係者等に対し、大会の事前情報を伝えるためのニュースレターを作成します。
 - ・ 発行頻度：四半期に1回

○ 大会ガイドブック

- 期間：2025年～2026年
- 大会ガイドブックを作成し、販売します。

○ 広報グッズ

- 期間：2023年～2026年
- ピンバッジを始めとする各種広報グッズを作成し、イベント参加者などに配布します。

2.14.5 インフォメーションセンター

- 期間：2026年
- MMC等にインフォメーションセンターを設置し、大会パンフレット等の配布など大会に関する情報を提供します。

❖ ロードマップ

2.14 大会プロモーション	2023年				2024年				2025年				2026年				27年			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4				
2.14.1 インターネットの活用																				
公式Webサイトの設置・運用					APC協議 ● 開設				大会ウェブサイトへの移行											
SNSの運用																				
2.14.2 PRイベント																				
大規模イベントに合わせたPRイベント、カウントダウンイベント等の検討・実施					1,000日前		2年前				1年前		100日前							
国際スポーツ大会等でのPR																				
大学との連携					適宜ワークショップ、アイデアコンテスト等を実施し、連携事業の検討・実施															
開催都市及び自治体との連携					会場所在自治体連携会議の開催、機運醸成の検討				ライブサイト（仮称）の実施											
2.14.3 報道対応																				
国内メディアへの充実したコミュニケーション																				
海外メディアへのタイムリーな情報提供																				
2.14.4 刊行物																				
大会ポスター・パンフレット																				
ニュースレター					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
大会ガイドブック																				
広報グッズ																				
2.14.5 インフォメーションセンター																				
インフォメーションセンター設置																				

2.15 マーケティング

2.15.1 スポンサー、ライセンス付与及び商品化計画

○ スポンサー

- 2024年10月までにマーケティングプログラムの概要をAPCに提出します。
- スポンサーシッププログラム（複数の協賛ランクや様々なカテゴリと設定）に基づいて、AINAGOC スポンサー候補へのスポンサーセールス及び契約締結を行います。
- AINAGOC スポンサーが各種企業活動で大会のメリットを享受できるようにスポンサーアクティベーションの実施支援を行います。

○ 知的財産権の保護

- 大会商標の国内商標登録を実施するとともに、APCと協議の上、必要に応じて海外における商標登録を実施し、大会商標に関する知的財産権を確立します。
 - ・ エンブレム、スローガン、マスコット等を商標登録区分（45区分）で申請します。
 - ・ 知的財産権保護マニュアルを策定し、大会パートナーの権利を保護するため、非パートナーによるアンブッシュ行為を規制します。
 - ・ ライツホルダーに対して大会知的財産の使用を承認します。

○ ライセンス付与及び商品化計画

- ライセンシング事務局を設置し、ライセンシングプログラムに基づき、ライセンシーの募集・選定を行います。
- 大会エンブレムやマスコット等を活用した大会の機運醸成に寄与する商品の製作・販売を行います。
- 伝統工芸品などと連携した地域活性化に寄与する商品の製作・販売を行います。

2.15.2 チケット팅

○ チケットの販売

- チケット팅に関する計画立案、販売等を実施するチケット販売事業者を選定したのち、販売方法、チケット価格、販売スケジュール等について検討し、チケット販売計画を作成します。
- チケット販売に係るシステムを構築し、一般・関係者に対して販売・発券を行います。

○ 競技会場座席の管理

- 競技スケジュールや会場ごとのブロックプランのほか、現地調査を踏まえて、各会場の座席計画を策定します。

○ チケットのチェック

- 各会場におけるチケットチェックや誘導・案内に関する会場運用フローの策定のほか、スタッフに対する研修等、現場における運営について検証します。

❖ ロードマップ

2.15 マーケティング	2023年				2024年				2025年				2026年				27年
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
2.15.1 スポンサー、ライセンス付与及び商品化計画																	
スポンサーシッププログラムの策定				■													
スポンサーセールス及び契約締結				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
スポンサーアクティベーションの実施				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
知的財産の保護				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
ライセンスプログラム策定				■	■	■	■	■									
ライセンス事務局の設置				■	■	■	■	■									
ライセンシーの募集・選定				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
ライセンス商品の製作・販売				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
地域活性化に寄与する商品の製作・販売													■	■	■	■	
主催者への報告																	APCへ報告 ★
2.15.2 チケットティング																	
チケット販売事業者の選定				■	■	■	■	■									
チケット販売計画の策定					■	■	■	■	■	■	■	■					
チケット販売システムの構築					■	■	■	■	■	■	■	■					
競技スケジュール・座席計画					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
会場運用フローの策定・スタッフ研修									■	■	■	■	■	■	■	■	
チケット販売の開始													■	■	■	■	
主催者への報告																	APCへ報告 ★